

DX等を活用した生産性向上策について(市役所を例に)

# 東京の若者が思い描く 市役所業務の未来

本プレゼンテーションでは、市役所が直面する課題と、その解決策としての業務効率化について探ります。人手不足や働き方の多様化といった問題に対し、「コンパクトな市役所」という理想像を掲げ、DXを活用した革新的なアプローチを提案します。市民サービスの向上と職員の働き方改革を両立させる未来の市役所像を描きます。



# 市役所が直面する課題

## 人手不足

全国的な労働力不足が深刻化しており、2040年までに1100万人の不足が予測されています。松山市役所も例外ではなく、人材確保が大きな課題となっています。

## 働き方の多様化

介護・育児と仕事の両立など、職員のライフスタイルの変化に対応した柔軟な働き方が求められています。固定的な勤務体制では対応が難しくなっていきます。



# 市役所が目指すべき姿：「コンパクトな市役所」

## 1 人手不足の解消

行政手続きのオンライン化を進めて、業務負担を軽減し作業効率を向上させます。例えば、**ペーパーレス化を推進**し、業務効率を大幅に向上させます。

## 2 多様な働き方への対応

リモートワークを当たり前にし、**コミュニケーションパスを多様化**します。職場の最小化も進め、**柔軟な勤務体制を実現**します。

## 3 DXへの前向きな姿勢

市民から見て、**市役所がこれからの時代を楽しんでいると感じられる**ようにします。DXを楽しみ、小さなことでも**やってみようという雰囲気**を醸成します。





# DXに対する不安と課題

## 理解不足

DXの概念や具体的な実践方法がよくわからないという声が多く聞かれます。

## セキュリティリスク

情報漏洩のリスクが高まるのではないかと懸念があります。

## 新技術への不安

AIやメタバースなど、急速に進化する技術に対する不安や戸惑いがあります。



## DXへの安心感をつくる

1

### CIO補佐官との連携強化

IT相談窓口を高度化し、専門家の知見を活用します。ITに関する問い合わせのFAQを整備し、職員の疑問に迅速に対応します。

2

### リテラシー向上

CIO補佐官による研修を実施し、知見のある職員による自発的なセミナーやコミュニティを形成します。担当に関わらず任意で参加できる環境を整えます。

3

### 継続的な支援体制

DXの推進に伴う不安や疑問に対して、常時サポートできる体制を構築します。職員が安心してDXに取り組める環境を整備します。



# DXを進める具体的な施策

1

## 窓口業務の改善

市民・職員ともに手続きがオンラインで完結できるシステムを構築します。あらゆる業務でペーパーレス化を推進し、効率性を高めま

2

## リモートワークの当たり前化

コミュニケーションツール「ロゴチャット」を活用し、業務相談や電子決裁など、業務効率化を図ります。また、IT相談窓口を活用し、担当課をまたいだ業務内容の問い合わせにも対応します。

3

## デジタル化の推進

業務プロセスの見直しと並行して、適切なデジタルツールの導入を進めます。職員の意見を取り入れながら、使いやすさと効率性を両立させたシステムを構築します。



# 未来の市役所像

私たちが目指す「コンパクトな市役所」は、デジタル技術を最大限に活用し、市民サービスの質を高めながら、職員の働き方も革新的に変える存在です。窓口業務のオンライン化、ペーパーレス化、リモートワークの普及により、効率的でコンパクトな組織となります。同時に、DXを楽しみながら推進する姿勢で、市民からも親しまれる存在となるでしょう。松山愛郷会youthの活動を通じて、若い世代の声も積極的に取り入れ、常に進化し続ける松山市役所を目指します。





# AIが生み出す市役所 業務の未来

本プレゼンテーションはAIが作成しました。デジタル技術の最大活用によりより効率的で質の高い市民サービスを実現する、「コンパクトな市役所」の未来像をお伝えしました！

